日本赤十字社

平成21年2月1日発行　第1巻38号（通巻38号）

日赤ニュース Number 38

NISSEKI NEWS

山田赤十字病院

●発行責任者●
内田節夫

●発　行●
山田赤十字病院 地域医療連携課
伊勢市御薗町高向810番地
☎ 0596-28-2171 内線2383
インターネットホームページ
http://www.yamada.jrc.or.jp

平成21年 年頭のごあいさつ

院長　村林紘二

「志摩半島　英虞湾（あごわん）」　撮影・水崎　恒治氏

平成21年の年頭に当たり謹んで御挨拶申し上げます。

さて当院が地域の医療機関の方々の御協力を得て、医療機能分担による地域完結型医療を目指した取り組みを本格的に始めてから、4年が経過しようとしています。皆様のお蔭で予想以上に早く定着し、大変嬉しく思っています。御協力頂きました皆様に、心から厚くお礼申し上げます。当院から、かかりつけ医への逆紹介率は80％以上を維持しており、その結果として再診外来は約半分になり、初診は約85％の方がかかりつけ医からの紹介状を持ってきて頂くようになりました。また救急外来でもほぼ同様の傾向が見られ、救急外来受診者数は3年前の約40％に減少しました。かかりつけ医の先生方、受診される皆様の御協力の賜物と、重ねて深く感謝申し上げます。

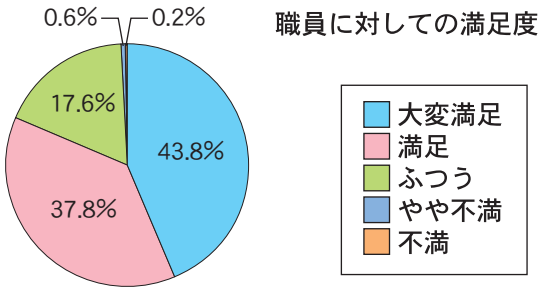
一方新入院患者数は、通常の外来経由、並びに救急外来経由共、徐々に増加しています。医師は外来に要する時間が減った分、入院患者のケアーに携わる時間が増え、より高度の医療に取り組むことができるようになり、手術件数の増加をはじめとして、その効果はいろいろな結果に反映されています。このように、地域医療支援病院として果たさなければならない当院の本来の役割である急性期入院医療の遂行に向け、精一杯努力しているところでございます。今後も医療機能分担の下に、地域完結型医療を進めて参りますので、どうか御理解、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

かねてから病院の移転新築についてお知らせして参りましたが、いよいよ設計も完成に近づきました。今後順調に運べば今年中に着工できる見込みであり、平成23年度中の竣工を目指しています。新病院はご利用頂く方々の療養環境に最大限配慮することと共に、それを支える医療従事者の就業環境にも気を配り、これまでの病院には見られない全く新しい構造にします。職員がゆとりを持って働くことができなければ、ご利用頂く方々へのサービスを十分に果たすことが出来ないだろうとの考えからでございます。医療機能としては、救急の充実を含め、すべての急性期医療に対応できる最新の医療機器を備え、高度な医療を提供できるものと確信しています。とりわけ、がん診療については国が最重要課題の一つとして取り上げていることもあり、また当院は、がん診療連携拠点病院であることも踏まえ、緩和ケア病棟の新設を含め、最も強化する分野でございます。これまで当地域では為し得なかったがん診療が可能になるため、より広範囲の方々に利用して頂くことも考えられることから、当院の存在場所がどなたにもより明確に理解できる必要性から、現代にマッチした病院名に変更することも考えています。ご提案があれば是非お寄せ下さいます様、お願い申し上げます。

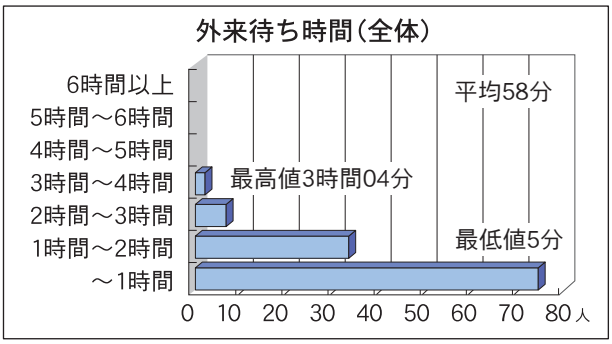
地域医療の崩壊ということが叫ばれるようになってから久しくなり、三重県内でも苦しんでいる地域がありますが、当地域では決してその様なことにならないよう、職員一同気を引き締めて邁進、努力して参りますので、これからも御協力の程宜しくお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。

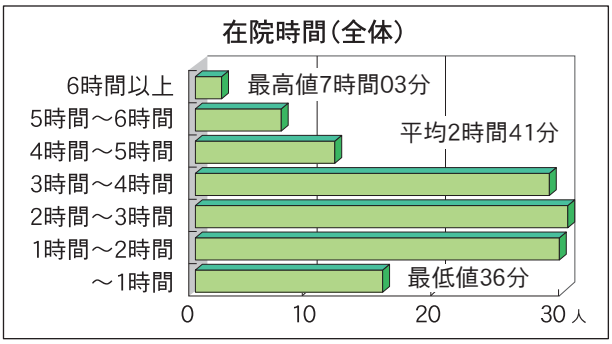
理念　人道　博愛の精神のもと
患者さま中心の
質の高い医療を行います

基本方針
- 人道と博愛を掲げる赤十字精神に則り、人々の生命の尊厳と健康を守ります。
- 患者さまの人権を守ります。
- 個人情報保護に万全の体制で努めます。
- 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します。
- 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します。
- 救急医療の充実に努めます。
- 災害時の医療救護や国際救助に貢献します。
- 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します。



職員に対しての満足度



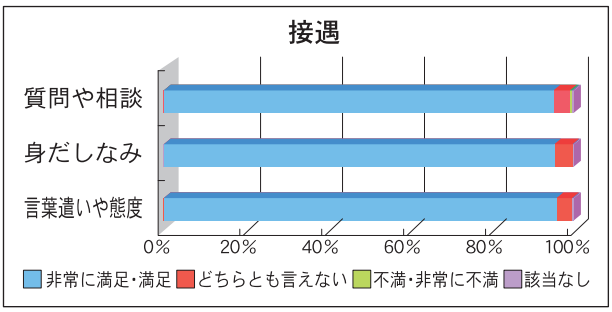


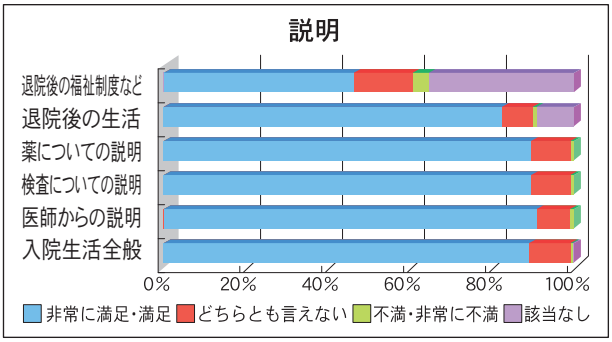
外来患者さま待ち時間調査

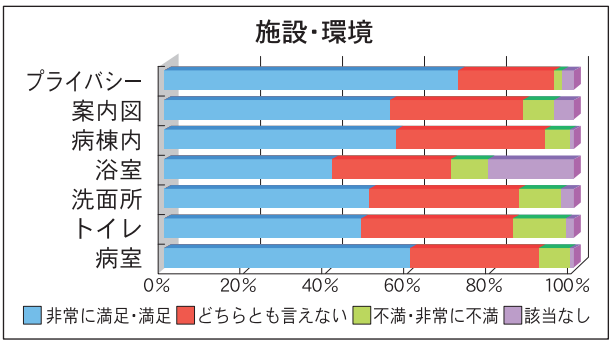
平成20年10月、外来紹介患者さまを対象に「外来患者さま待ち時間調査」を実施しました。多くの患者さまにご協力をいただき、本当にありがとうございました。ここに、調査結果をご報告させていただきます。外来診察の待ち時間につきましては、平均58分という結果でした。病診連携を通して予約していただくことで、外来待ち時間短縮に努力していますが、まだまだ、患者さまが直接紹介状をお持ちいただき受診される場合が多く、外来診察の待ち時間が長くなってしまい、ご迷惑をおかけしています。待ち時間短縮に向け、今後も検証、改善していく所存でございます。

また、患者さまより「その他お気づきの点」として、以下のように、多くの貴重なご意見やご要望をいただきました。①待ち時間が長い、②駐車場で空きを探すのに時間が掛かる、③早口が気になる、④複数の看護師が同時に話すのも気になる、⑤動作を急がされてるように感じる等です。しかし、改善点ばかりでなく、当院職員の業務態度や接客対応についての感謝のお言葉もいただきました。ありがとうございました。職員一同、以上のようなご意見やご要望を謙虚に受け止め、患者の皆さまに満足していただけますよう、よりよい医療の提供に、尽力してまいります。これからもお気づきのことがありましたら、院内に設置してある「ご意見箱」に、ご意見をお書きいただき、御投函下さい。

今後も外来診察の改善に向け、ご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。







入院患者さま満足度調査

平成20年9月の1ヶ月間、435名の入院患者様にご協力していただき満足度調査を実施しました。回収率は79.4%でした。多くの患者様にご協力を頂きありがとうございました。調査項目は①接遇、②説明、③施設・環境について行ないました。

①接遇については、92%の人が「非常に満足・満足」という結果で、昨年同様の結果でした。皆様が不快な思いをされないように、接遇について今後もいっそうの努力をしてまいります。

②説明については、昨年と同様の結果でした。退院後の生活についての説明は他の項目より「非常に満足、満足」が少なく、患者さまの退院後の生活への不安に十分応えられていないように思われます。患者さまに安心して検査・治療を受けていただけるよう、分かりやすい説明に努めてまいります。

③施設・環境については、昨年より「不満・非常に不満」が若干増えています。建物の老朽化が進んでおり、患者さまにご不便をお掛けいたしております。改善可能なところは改善してまいります。また皆様から頂いたご意見は新築時の参考にさせていただきます。

皆様から信頼される病院を目指し、職員一同今後も努力してまいります。満足度調査は毎年9月に行なっておりますが、病院内には各部署にご意見箱が設置されております。是非貴重なご意見を今後も頂きますようお願いします。

平成20年度山田赤十字病院大規模災害救護訓練を実施

- 進歩するための“新たなる課題”の確認 -

災害･防災対策委員長　東川正宗

静岡県沖を震源とした東海地震が発災、伊勢市は震度６弱を記録し、市内に大規模な被害が起ったとの想定で、平成20年度大規模災害救護訓練が平成20年12月21日(日)に病院玄関前駐車場、エントランスホール周辺を主会場として行われました。平成20年2月に行われた訓練の反省を受けて、今回はトリアージ技術の向上に加えて以下の課題を設定しました。1)各部門間の双方向情報伝達訓練、2)ゲートコントロール、3)救急現場でのDMATおよび消防との連携、4)家族対応･安否確認情報伝達訓練、5)スタッフを対象とした給食提供です。また、今回の訓練では、決まったシナリオに従うのでなく経時的に想定される状況付与を行いました。

今回の訓練に向けて、平成20年5月から毎月3日間を１コースとしたトリアージ研修を6コース計18日行いました。事務部門を含む病院各部署から約360名がトリアージ研修会に参加し、災害時のトリアージについての理解を病院職員全体が深めました。今回のトリアージ研修会の運営に当たり、前年に増して救急部の説田部長をはじめACLS委員会、研修センターの多大な努力がありました。課題の双方向情報伝達については、本部員の役割確認を行ったこと、無線機の活用、ロジ担当として事務部の各エリアへの配属を行い、ある程度成果を得ることができました。特に、無線機は情報が各部署で同時に共有でき有用であることが分かりました。ゲートコントロールに関しては、被災者、家族などの整理･誘導、消防による被災者の搬送を想定し救急サーキットの設定を行いました。実際に救急車を走行させ被災者の搬送を行うことで救急車の誘導、降車ポイントの設定、傷病者の収容、病院前トリアージ、病院内への搬送と一連の流れを体験できました。また、DMAT隊と消防レスキュー部隊との倒壊家屋からの被災者救助は本番さながらに行われ、DMAT隊員にとって貴重な体験となりました。患者安否情報を提供するためにゲートに近接し家族対応部署を設け実際に安否確認に訪れた家族に対応する訓練を行いました。大規模災害時の心のケアに通じる大切な訓練と再認識できました。今回設けたスタッフを対象とした給食は参加者から水分、甘味を取れて新たな力がわいたと好評でした。その一方で、課題として、刻々と変化する状況にどのような判断をすれば的確に対応することができるかを決定するための災害対策本部の情報収集、分析、指示機能の強化がさらに必要であることが分かりました。平成21年度はこの点を踏まえて研修、訓練計画を立てて行く予定です。

今年度も、大阪赤十字病院のシナリオ無しの救護訓練を見学し、刺激をうけました。また、当日は新聞社2社と地域の有線テレビ局からの取材があり、地域への情報発信ができました。また、大規模災害救護訓練について日ごろからご助言頂いています長浜赤十字病院、市役所、近隣の消防などから約40名を越える見学者がありました。今回の訓練は消防を含め約240名の関係者が一体となり、大規模災害のなかで日頃の研鑽結果をどのように生せるかを検証すると同時に、進歩するための“新たなる課題”を確認できた有意義な救護訓練となりました。

※ DMAT(Disaster Medical Asistance Team:災害派遣医療チーム)

各教室ご案内

(日時については変更する場合がありますのでご確認ください)

肝臓病教室

3月17日(火)・5月19日(火)
【時　間】13:30～16:00
【場　所】山田赤十字病院　講堂
【参加費】100円
●申し込み・問い合わせ
内科受付(内線)2250

糖尿病教室

3月13日(金)・4月10日(金)
5月8日(金)・6月12日(金)
【時　間】9:00～13:00
【場　所】山田赤十字病院　講堂
【参加費】500円
●申し込み・問い合わせ
内科受付(内線)2250

心臓病教室・腎臓病教室

現在、日程は未定となっております。
●問い合わせ
循環器科受付(内線)2289

助産師外来　～妊婦健診を行います～

平成21年4月より、当院産婦人科外来において従来の保健指導中心の助産師外来から妊婦健診を含めた助産師外来に変わります。

助産師外来は、妊娠中から分娩･産褥･育児までの継続的なケアを受けていただくことを目的としています。

正常な経過をたどっている妊婦さんを対象として、妊娠28週、34週前後の2回の健診を助産師が医師との連携を持ちながら行います。

毎週火曜日･木曜日の9:00～12:00までの完全予約制です。1回45分ゆっくり話を伺いながら健診を行います。

楽しいマタニティライフを送っていけるよう、助産師がサポートいたします!

なお、ご不明な点がございましたら産婦人科外来までお問い合わせください。

産婦人科外来　内線2258

日赤ニュースについての、ご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

〒516-0805
伊勢市御薗町高向810番地
山田赤十字病院 地域医療連携課
TEL　0596-28-2171　内線 2383